

☆神戸っ子座談会

神戸をファッションの街に

□出席者

宮崎 辰雄 〈神戸市長〉

砂野 仁 〈川崎重工株式会社
神戸商工会議所会頭〉

竹馬準之助 〈竹馬産業株式会社
神戸商工会議所副会頭〉

畑 専一郎 〈神戸新聞主筆〉

★ファッションと神戸

—— 最近、神戸をファッション都市にするのが良いのじゃないかということが色々な場所で行われております。また、極く最近では畑専一郎氏の論説でF・I・T、つまりファッションのクリエイターをつくる研究所をつくるということや、あるいは、商工会議所の方にも色々とお考えがあると聞いております。そこで今日は宮崎市長にもご出席いただき、その可能性につきまして忌憚のないところをお伺いしたいと思うのですが。

市長 ファッション産業ということなのですが、神戸の産業を研究開発、高度の組立産業、知識産業、ファッション産業という四つの知識集約産業へ持って行かないといけないということは殆んど常識になっていると思います。つまり、ファッション産業が重要な一翼を担っているということですね。これは皆さんにも異議はないし、また当然そういうところへ進むべきだと思うのです。

また、畑さんがおっしゃっているF・I・Tの問題ですね。これは、アメリカでは大学みたいなもので、ニューヨークでやっていることです。そんな規模のものがやれるかどうかということですね。それから、この間結成されましたKFAの問題。これなんか実際の活動はまだですね。これがどうなるか。こういうことがこれから論議されたり、進んで行く経過を見て行かなければい

けないのじゃないかと思っております。

—— それでは、畑さんの方から神戸とファッションとのつながりということでお話し願いたいのですが。

畑 最近、急速に神戸をどんなまちにしたら良いのかということが真剣に考えられるようになったと思います。理由としては、例の日本列島改造論です。一時は旧神戸市内全部が工場追出し地になるといわれました。そうすると川崎も神鋼もなくなります。そんなら神戸はどういしてたべて行ったらええネンという問題です。この追出しの過激論は引っこみましたが、ながい目でみると同じ問題がひかえています。例えば、神戸市でいま策定を急いでいるマスタープランにしても、川崎重工や神戸製鋼が三〇年後にはどうなっているのか。用地はそのままでも鉄や造船を続けているとは思われません。いやでも衣がえを考えたおかげではありません。

そういうことで、市民がこの問題を真剣に考え出したときに、たまたま昨年神戸市の経済局が神戸の将来の産業を考える懸賞論文を募集したんですね。そのときに僕もその審査員の一人として審査させて貰ったところ、すごく優秀なが出てきたのです。その内容もやっぱりファッション都市としてやって行こうということで、理論上ハッキリした道しるべが打ち立てられました。

また、神戸市の消防局の雑誌「雪」で僕と三宮地下K



宮崎辰雄神戸市長

学生が六千人、また日本からも昼間二十名、夜間三十名入学しているという大変な規模でして、神戸でそれをつくるというにしても一度には出来ないですね。でもそのF I Tにしても最初に出来たのは昭和一九年で、ニューヨークをファッション都市にするには先ずひとつくりだということで、業界が立ち上って、ビルの一室を借りて発売したんです。それが最近では、今までの大学卒の一年コース、高校卒の二年コースから、いよいよ、四年コースをつくらうということになり、業界と行政が一緒になつて、ペラボウな大学の建物をつくらうとしてゐるのですよ。

Kの森本泰好さんが、ファッション都市化について対談をやったのですが、非常な反響が出て来ました。それで、次の号にも本誌の小泉康夫さんと続ファッション都市化の対談をしたのですが、これまた各方面からその雑誌を送ってくれないかといった反響が出ました。

そうこうしているときに、この正月に商工会議所の砂野会頭から例の爆弾提案が出たわけです。神戸で大規模な見本市やファッションショーをやつたらどうかという壮大な話です。かと思うと引続いて一方では、国際会館の玉井さんが、二〇億位かけてトータルファッションショーの出来るホールを増設したいという計画です。

神戸に生まれ神戸の好きなボクとしては、こんなうれしいことはないのですが、そういう施設をつくるのだつたら、容れ物だけでは半分の出来で、一方ではそれに見合うひとつくりが行なわれて行つてこそ実際のものになります。何しろ二〇億を使つてつくらうというのですから、我々も意見を出し合つてほんとに役に立つ最善の施設に行きたいと思うのですね。それで、僕なんか勝手にF I Tのことをいい出しているわけなんです。

F I Tといいましても、アメリカでは先生が三百人、

うどその創成期のころが参考になると思います。ここでウント機運をもり上げてF I T創成のようなところへ持つて行けたらと思うわけです。

砂野 私は前から神戸には神戸高商とか、神戸高工とかに優秀な生徒がいるので、神戸は産業都市の素質を持っていると考えておつたのです。ところが、最近では、脱工業とかで事情が變つて来て、この土地が発展するには、何か新しいアイディアによつてひとを集めなければならぬと考へていたところ、実はこの間、ライブツイヒの見本市へ行つたのです。ところがあれは交通の要路にあつたということだけでその見本市が八百年の歴史を持つてゐるのですね。そうすると神戸というのは昔からハイカラの土地だといわれていたようにファッションの土地であつた。だから、新しいデザインをこゝで生み出せばライブツイヒの見本市に匹敵するようなものが出来るのではないかと思うようになったのです。

竹馬 それは見本市の構想から出発しているのですがファッションの見本市ということですね。

砂野 そうです。ただ単に見本市ということじゃなくて

神戸はファッションの見本市ということです。

畑 ただ、その場合行政が力をかす必要がありますね。

ニューヨークのF・I・Tの場合は業者の自力でやれたのですが、神戸ではなにをするにしても行政が協力しないと前へ進まないと思うのですが。

竹馬 まったく同感です。

市長 まあ、行政だけじゃなくて業界自身のエネルギーなんかも出て来ないといけないのですが、畑さんのおっしゃったF・I・Tのことにつきましては行政がやって行くことが必要だと思います。ですが、やっぱり、民間のバリエティというものがなかったらいけないですね。

それで、ファッションの場合では、その土壌がなかったら駄目だと思うのですが、神戸の場合は比較的それがあると思いますね。海港都市ということで、ものに入っても入って来るのは東京なんかより早いですね。

それに先ほど会頭もいわれたように第二次産業型工業と言うものは神戸では形を変えて行かなければならなくなりまして。ですから、ファッションに力を入れて行くということは私もやりたいことです。



氏 仁 野 砂

しかし、F・I・Tのようなものが一ぺんに出来るかというところ、なかなか出来ないのであるが、積み上げ方式というところでやって行かなければと思います。また、K・F・Aも出来たことですし、この機会に出発するというところで努力したいと思います。

ただ、私が心配しますのは、デザインとかアイディアというものを先生が指導すると言う場合、生徒に教えて行く雅量があるのかどうかということです。

畑 この際思い切ってオープンにするために、デザイン取引所があっても良いのじゃないかと思うのです。神戸の海運取引所としての海運集会所などはかつて日本の名物になっていました。ああいう形でデザインの取引所があれば、ここへ全国からデザイナーが集まって来るんじゃないでしょうか。そうなれば、放っておいても神戸がファッションの中心になると思います。これは一つの考え方なんです。

市長 また、私が心配しますのは、企業として色々なデザインとかアイディアが自由に交換されるのを認めて行くか、あるいは、閉鎖的になって認めないのかどうかということです。認めないのなら駄目だと思います。

また、パリとかニューヨークとかの外のファッションをどんどん取り入れて行くということですね。現に神戸市では靴のファッションというところで、今年からミラノへ駐在員をおいています。そういうことで日本にどんなファッションを入れたいと思っています。各界もそういうことで考えて欲しいと思うのです。

畑 わたしたちが普通考えているより、神戸はそういう実績を持っていますね。例えば日本の制服のデザインの七割までが神戸から生まれているといわれています。ニッポンは日本で、ジャヴァやワールドなんか



氏助 竹馬

から、初めそれを知らない東京の業者は神戸に進出してもみんな失敗するんだろね。

砂野 菓子なんかでも風月堂なんか八割以上が県外へ出していると言うことで、業者数から言えば日本一じゃないですか。

市長 そうです。日本一の菓子が殆んど、東京なんかへ出ているのですね。これは極端な例でしょう。次が服装関係でしょうか。実は住友銀行が三年間かかって近畿圏の将来はどうあるべきかという調査の結果を出しているのですが、やはり神戸はファッション都市として進むべきだということ。これを大阪の銀行さえいっていますね。これは公平に見てもそういう方向へ向かわざるを得ないということですね。

★ファッション講座の設立

—— 今度、商工会議所の方でファッション懇談会を持たれるというようなことを聞いているのですが。

竹馬 懇談会といってもどういう風にもって行くべきかとみなさんの色々な意見をきく会のようなもので、市の方からどう言う風にやるのかときかれたときに答えられるようにしたいということですね。

畑 市の方でも案外色々と考えて頂いているようです。ね。例えばファッションアベニューをつくろうという考えで、そごうの隣の道をファッション街区として蛇行型にしようとか、すでに下調査なんかかなり精密にやっておられるようです。

竹馬 小磯良平先生も神戸をファッション都市にするという二〇年来の提唱者でしてね。まあ、その頃は全然耳を貸して貰えなかったということだったのですが、今や、先生のおっしゃったようになりつつあるので、今度お会いしたら謝らなければならぬのですが。昔から神戸にはそういう魅力があるのですね。

も神戸でああいった斬新な建物を建ててくれて、いまある程度までファッション都市の面目が出てきてると思うのです。

竹馬 また神戸の良さと言うのはボスが少ないということですね。何をやるにしてもスツと行けるということですね。そういう意味において神戸は汚れていない土地、無垢の土地だということです。ここに非常な神戸の魅力がありますね。

畑 そうですね。神戸というところは新しいことをするのに抵抗のないところですね。そのかわり、消費者の方も冷酷ですね。つまり、土地を愛するというのがなくて、良いものを愛すると言う傾向が非常に強いですね。

そういう集積ですでに神戸にはひとつのモードができあがっていると思います。良いものを買う客がいるので、商売人も良いものを仕入れると言うことで、眼が肥えて来ている。だから、新宿のように新しがり屋だけじゃない。神戸には一つの高級な流行が定着していると思います。例えば色にしても一種淡い色なんです。だ

市長 美的な感覚とか、新しいセンスとかいうものを神戸人は持ち合わせているんですね。

けれど、いずれにしても、これからの産業だという気がします。神戸では全産業構造に占めるパーセンテージは、事業所で大体一〇パーセント前後、生産・販売額で大体六パーセント位でしょう。ですからこれからですね。森本さんの考えでは、例えば由緒ある旧商工会議所の建物なんかいま遊んでるのだから、神戸家具なんかの職人さんの養成所にして生かしたら良いのじゃないかといわれてました。家具もファッションですし、市長さんに一つお考えねがいたいと思います。

竹馬 こういうことがどんどん発展して行ったら神戸のファッション市長というのが生まれるかも分りませんね。

市長 畑さんもおっしゃったように、神戸にあるものは、家具にしても洋菓子にしてもファッション性の強いものが多いですね。そういう面でも神戸には割合ファッション性のあるものが多いですよ。

畑 ケミカルシューズなんかでもトータルファッション

の中へ喰い込ませて、発展させて行くという態勢が生まれたら理想的ですね。

砂野 何とか市長さんのご指導を願いたいですね。

市長 ご指導はこちらが願いたい方でして、ご協力は致します。どういう具合にやって行ったら良いのか、出来れば今年の予算からでもファッション大学講座なんかでももって行って、手掛りをつくって行こうかと思ってるですよ。

砂野 面白いですね。それで講座を設けるとした場合、そこに入れるのは素質を持った者なら誰でもということにして欲しいと思うのですが。

市長 ええ、勿論そうです。具体的には市民大学講座会館というものをつくりましたので、そこでファッション講座というものをつくりたいと思うのですね。

それから、新しい消費の方向なんかについても講義の出来る商業大学講座というようなものをつくりたいと思います。ですから、今考えているのは、この商業大学講座とファッション大学講座とを何とか今年中につくりたいということですね。

こういう問題は今まで役所なんかでは一番取り組みにくい問題だったんですけど、私も神戸市では案外研究していますね。

私は今年の行政の柱を環境と福祉と文化の三つにおいて文化都市づくりということをして来れています。それで神戸の文化水準の向上のためにこの九月に文化大ホールをつくるのですが、皆さんにご協力頂きたいことは、文化の奨励と言う意味で色々な文化賞といったものをつくって行きたいと思っています。そのことなんです。つまり、それについて、神戸の文化地盤を上げることが出来るように公平に効果的に選定出来るように教えていただきたいと思う

畑 専一郎氏



のですよ。

これまでの絵とか書とか以外にも、ファッションとかデザインとか、広い意味で各界で文化に貢献するひとを表彰して行きたいと思うのです。

★ポートアイランドをファッション基地に

砂野 ところで話は変わりますが、私はポートアイランド沖に新国際空港が出来れば、世界のひとが皆集まって来て、神戸が非常に良い条件を備えたファッションの街になると思うのですね。

市長 ポートアイランドにはインターナショナルスクエアというのをこしらえてますね。そこに世界のモードをちりばめたような商品とか情報とかを集めたり、また、世界の商品の直売をしたりするところをつくりたいのです。どういう具合につくり上げるかはこれからの問題なんです。しかし、それが出来れば一種の常設展示場にもなると思います。今あるサンポーホールよりもバラエティに富んだ、しかも、少し高級で、ファッションフェアなんかのようにサンポーホールでは出来ないこともやりたいと思っています。

サンポーホールは下がタイル張りでしょう。そこで、高級帽子や衣装の展示をやっても似つかわしくないですね。やはり、デラックスな場所でないといけないし、そういう場所をどうしても先ずつくらなければと思いますね。

砂野 そういう場所として国際会館は……。

竹馬 あれはもう建物自体が老朽化していますね。

まあ、あそこをそういう催し物に使ったらという考えもあるのですが、同時に、ポートアイランドの中の一つのホールが出来ればという考えもあって、みなさんの色々な考えをまとめて行きたいと思っています。神戸ではそういうことをやるといって業者がみんな協力してくれるのですね。

市長 まあ私としては今いったような夢を持っているのですが、みなさんのご協力を得て何とかやって行きたい

と思っています。

砂野 市長がそういうお考えを持っておられ、財界がそれをホローし、また、マスコミがこれを指導、協力して行くという具合に皆の意志が一致し、しかも、その素質があるということは滅多にないことです。

畑 同時に私なんかは、例えば、ロンドンのカーナビーストリートみたいに、まちのゴミゴミした中のある通りが一つのファッションの震源地みたいなものになるというところで、既成のまち、神戸なら坂のあるまちという中で何かが生まれて来たら良いなあという感じを持っているのですが……。

市長 そうすると両側の建物なんかそれにふさわしい特徴のあるものになって行かないといけないなんて難しい問題なんですけれども、一度、市が先鞭をつけて、ファッション・ストリートというようなものをつくれれば、それに調和したような建物やらその他の構築物をみんながやってくれるようになるかも分りませんね。そう言う意味で、先程いましたように民間のバイタリティに期待するわけです。

畑 そうですね。例えばKFAなんかでも、行政が出てこざるを得ないようなぐらいいに、前へ出る必要がありますね。これが一番大切な問題ですね。

市長 ファッション関係の民間の方のオフィスなんか、例えば先程のお話にもありましたジャヴァのようなファッション性のある建物をつくって貰いたいものですね。そうすれば問屋街が出来上がるようにファッション街が出来上って行くと思うのですよ。

しかし、いずれにしても、神戸が将来ファッションのまちになる。また、それで行かなければならないということには全員一致のようですね。

全員 そうですね。お互いに頑張りたいですね。

経済ポケット ジャーナル



★神戸経済同友会新代表幹 事に松村文二郎氏内定

二月五日に開かれた神戸経済同友会の総務委員会および幹事会で、松村文二郎神戸銀行常務を昭和四十八年度、神戸経済同友会の代表幹事に選任した。席上合



松村文二郎氏

わせて、下川常雄氏の留任も正式決定した。

新代表幹事の任期は四月九日に開く総会から一年間松村氏は、昭和十七年東京帝国大学法学部卒業後、日本銀行を経て、昭和三十三年神戸銀行入行、現在同行常務取締役。

神戸経済同友会の代表幹事は二期つとめ、交互に交

代してゆくのが慣例で、地場産業と大企業出身の二本建てでゆく方針がとられている。

松村氏の経歴から、広い視野にもとずく、今後の活躍が期待される。

★サンケイ新聞神戸支局 新社屋完成

去る一月一九日、サンケイ新聞神戸支局新社屋完成パーティが、経済人、文化人ら約三〇〇人を招いて盛大に行なわれた。

完成した新社屋は、耐火



完成した新社屋

鉄骨五階建て、延べ面積約四六〇平方メートルで、二階にはサンケイ新聞神戸支局が、三階はサンケイ新聞広告社、四階は日本工業新聞神戸支局などサンケイグ

ループ各社が入った。

笹井武久（同社神戸支局長）氏は、新社屋完成によってサンケイグループ各社間の連絡が密になり、仕事の一層の効率化を計っているとのこと。

で行かねばならない。当面の大きな問題は二つあり、一つは、市街地改造計画にいかに対処すべきか。もう一つは、従業員の福利厚生改善と再検討です」と就任の抱負をのべた。

★三宮センター街連合会会 長に岸野利男氏就任

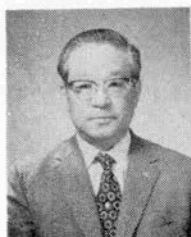
センター街のより一層の繁栄と一致団結をスローガンに二月一日付で岸野利男氏が、新会長に就任した。

岸野氏は早大時代には、庭球部で活躍し、国体、都市対抗など、数々の大会に出場したスポーツマンで、その磊落な人柄はテニスに

氏はまた多才な趣味を持ち、尺八を吹き、都山派の免許皆伝であり、酒はセンター街の横綱と聞く。

より培われたものである。「これからのセンター街のより一層の繁栄・発展はセンター街に店を持つ人々が、一丸になって取り組ん

「金と金との付き合いはもうろく、人間対人間の付き合いをする」を生活信条として今後ともセンター街発展のため、力を尽してゆきたいと語っている。



岸野利男氏

★KOBEOフィスレディ★



浜本加代子 さん（22歳）
百十四銀行

これから暇を見つけて絵を習いにゆこうと思っているという落着いたお嬢さん。神戸女子短期大学を卒業して、百十四銀行に勤務されています任された仕事をうまくやり終えた時、仕事をしていてよかったと思います。素敵な彼が見つかるまで。気のおけない友と旅をしている時が一番楽しい時かなと微笑む。

★技術ジャーナル ⑦⑧

防音施設

諸岡 博 熊

〔阪神外貨埠頭公団工務部長〕

道路公害といわれる、排気ガス対策と騒音対策は焦眉の急務である。このうち排ガス規制は、四月から環境庁が四十八年規制（CO二六 μ g、HC三・八〇 μ g、NOX三 μ g）いずれも一 μ gあたりをスタートさせ、五十年規制（CO二・一 μ g、HC〇・二五 μ g、NOX二・一 μ g）五十年規制（CO二・一 μ g、HC〇・二五 μ g、NOX〇・二五 μ g）が相ついで実施される。自動車メーカーは、量産、量販の拡大政策から、安全、公害対策を中心とした技術開発に全力を投入する時期にきたと言える。

これに対し、交通騒音については個々の道路条件によって異なるため、問題が複雑である。

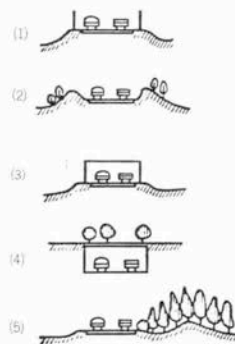
そもそも、騒音対策には①音源から発生する音を減らす、②受音点で受ける音を減らす、③音源から受音点の間で音が伝播する経路において音を減らす。という三つの対策がある。

音源対策としては、交通量か、速度を規制すればかなり効果があり、また、受音点対策としては、沿道建物の窓サッシの改良、二重

窓など直接的な防音設備と、建物の配置、利用を考えた間接的な方法がある。さらに、騒音の伝播経路に対する方法としては、その経路途中で音の減衰ができるだけ大きくするような手段を構すればよい。

騒音が伝播する過程で減衰させるためには、①音源と受音点の距離をとるか、②騒音の伝播経路に、音に対する障害物を設けるとよい。

音源と受音点の距離は、ある一定の距離を離すと減衰効果がでるが、音源から数十メートル離れてしまうと、あとは、少々距離を大きくとっても大きな効果はない。それよりも、障害物で音をさえぎり、直接音が伝播しないようにする——障害物でできる音の影の部分へ受音点を置くと、音が回折しながら減衰する効果があるので、音に対する障害物を道路工事のときに人工的に設置するとよい。

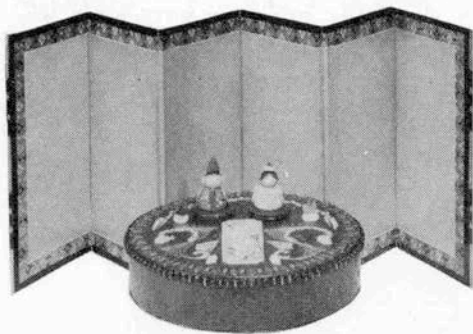


防音施設の種類

このような防音施設を大きく分けると図に示すように、①防音壁、②防音築堤、③防音覆い（アーケード）、④覆工トンネル、⑤防音林、となる。

①防音壁には遮音壁と吸音壁がある。受音点のあり方によっては、この両者を併用する必要がある。②防音築堤とは、防音壁の代りに盛土して築堤することにより音をさえぎるので、工学的には防音壁と同じ。しかし、築堤部に植樹などができるので環境保全上よいが、道路用地を広くとる必要があるのが欠点。③と④はいわゆるトンネル方式であるが、防音築堤で効果のないとき用いられる。ところが、トンネル出口からの騒音が問題とされる。⑤の防音林は、音が樹林のなかを伝わる間の減衰効果を狙ったものだが、少くとも、八十ないし百メートル程度の幅が必要とされる。幅を広くすると経済的とはいえないが、音だけでなく、排気ガス、粉じん等に対しても効果的で、環境保全の機能は大きいといえよう。今後建設される高速道路は、西ドイツのアウトバーンと同様の樹林道路となっていくことであろう。建設費が少々嵩さむが、道路景観、沿道環境などの保全と公害の防止に役立つというメリットが大きい。

※ 3月3日ひなまつり



北欧の味 日本の祭り

日本の伝統「祭り」その中でもひな祭りは桃の節句とも云い、女の子のためのお祭りです、白酒をいただきお祝いするとき、北欧の伝統的な味を日本風にアレンジして作られた、ユーハイム・コンフェクトのデコレーションケーキをがいっしょに。

700円より各種ございます



北 欧 の 銘 菓

ユーハイム・コンフェクト

本社・工場・熊内店／神戸市東灘区熊内町1（市立美術館東隣） ☎ 221-1164
三宮センター店／三宮センター街1丁目（洋菓子・喫茶・レストラン） ☎ 331-2421



呉服の粋

赤

坂

本店 神戸市生田区元町通六丁目
(341)五五一八・八六五三
大丸前店 市電大丸電停山側(391)三一六四



HOYA

バリラックスII発売

老眼鏡よさらば!!

Bi Bi Bi-FOCAL



バリラックスIIは自然な視力を継ぎ目なく遠くから近くまで見る事が出来ます。



HOYA バリラックスIIレンズ1組 17,000円より

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちタウン ☎(391)1874~5

元町店は毎水曜日がお休みになりました
三宮店は第3水曜日が休みです

刻まれた伝統の たしかさ

ゴンチャロフが心をこめて作りあげた手づくりの味



名門の風格 **ゴンチャロフ**

'73年「神戸っ子」12周年記念

BM

ブルー・メール賞

文学部門選考座談会

時代を生き綴る鄭承博に

選考委員

小島輝正〈神戸大学文学部教授〉 島京子〈作家〉

編集部 昨年のブルー・メール賞は詩・俳句・短歌などを対象に選考をお願いしまして、詩人の中村隆氏が受賞されました。本年度の文学部門は特に小説を中心にご選考をお願いしたいと思います。

昨年度、特に目覚ましい活躍をされた方ということですが――

小島 神戸の作家として、活躍されているのは、陳舜臣、田辺聖子といった人たちは名実ともに文壇の最前線で活躍されている訳で、風格のある作品を出されている。

このブルー・メール賞では昨年、特に活躍された方ということですが、できるだけ、新鮮な賞といったイメージを出したい。

島 そうですね。この賞は去年と

くにいいものを書いたということなので、比較的、安定した力をもった人という、前提条件が必要だと思いますが、この受賞が一つの契機となって更に活発な文学活動を期待できる人を中心に考えてみればどうかと思います。

小島 そうかといって、ただ一作の秀作だけで選ぶということは避けたい。あくまで、今後とも書き続けてゆける人、実力があり、豊富な体験を持った人であることが大事な点だと思う。

島 新人賞ということに限るとどうしても無理が出てきますしね。

小島 神戸に腰を据えて文学活動をする人にとっての奨励賞の意味も、もたせたいものです。

島 それと、これからの人を発掘するということもこの賞の一つの目やすとしておくといい。若い人達がこの賞を目指して、がんばってやろうということになりますから。それから、神戸ということに余りこだわらず、かなり広い所から選ぶようにすることです。

小島 その点は、ほくも同感です。島 その方が今後活躍が非常に期待出来る人を選ぶことが出来る。

また、ブルー・メール賞にフレッシユさをもたせるためにも新人登場の道は開いておくことですね。

小島 今、話にあった辺を受賞規準として、去年一年に幾つかいい作品を書いた人を上げていくと、

尼崎の「AMAZON」の松尾亮

が去年もいい作品「落葉」を書いている。滝野にいる三枝和子も去年二冊ほど作品集を出しているが、この人はすでに田村俊子賞をとっていますのでどうでしょう。

「たうろす」の山田幸平の「トレドの稲妻」が近く本になる予定だがまだ出ていない。

島 去年の関西の同人雑誌の作品評を参考までに持ってきましたが、「糞」という個人雑誌を出している海田直生の「海触崖の下で」が面白かったですよ。



小島 輝正 氏

小島 VIKINGではどうでしたか。

島 文学界に転載された蔵本次郎の、亀の腹の中からビニール袋が出てくる「亀」、宇江敏勝の詩情と怪奇趣味を混えた山の生活の連作。それと、叙事文学という題を若い人たちにゆずったと言っていた上垣青二も健在ですよ。女性では広田のふ子「至福の女」などで

すね。

小島 難病で八年間入院している「天秤」の田辺信の闘病記「夜と空白の間」は、せい、さんな闘病の苦しみと、詩人である彼の文学的才能とがよく表現されていて、非常に感動的なもので推せんに値するが、小説ではないのが残念です。この人は去年詩集も出していますし。

島 州本在住の韓国人で、「文学界」に「裸の捕虜」「地点」「電灯が点いている」を発表した鄭承博は注目すべき人だと思う。

小島 「AMAZON」の日野善太郎、この人は飯場で生活しながら書き続けている人で、連載の「限りなく六月」は、もう二年位続いていて、力作です。小説といっても実話小説みたいなもので、皆本名で出てくる。あれが完成すればきつと面白いものになる。

島 一作に限れば、「蟻」の真岸努「たかさご」はよかった。ただ一昨年になりますね。

小島 そう、あれは私も感心しました。「オール関西」（二月号）に転載されるはずですよ。

島 新聞連載の原田八束「虹と落日」が好評ですが、連載中です。

小島 そこまでひろげると、きりがなくなる。もう少し範囲をちぢめましょう。姫路の方ではどうですか。

島 滝野の「西播文学」の谷口謙という人もよく書いています。

小島 ああ、あのお医者さんの人ですか。長い作品がまとまると面白いと思います。畑は違うが「クワレット」に連載していた君本昌久の作品も注目されますが、何分廃刊になって中断したのは残念です。

島 アメリカから去年戻った野口武彦も、活躍しそうですね。

小島 これからでしょうね。評論だが、「谷崎潤一郎論」を書き上げたし、小説の方では、「文芸」

二月号に「収穫の年」を書いていいる。今年の秋には、小説全集が出るそう。神戸の若手ホープです。人によっては評論の方を買う人もいます。

島 去年神戸に来住した筒井康隆もいいですね。

小島 この人はもう一流ですよ。SF的なものや、ブラックユーモア風のを書かせると、実にうまい。

島 できるだけ、奨励賞的な意味をもたせたいですね。私自身もかつて「オール関西」の三洋新人文化賞をもらった時は、ずいぶんとはげみになりました。

小島 小説ではないが、詩のほかにラジオドラマを書き続けている安水稔和は純粹の神戸っ子だし、なんかの形で賞を提供したい人で

す。評論までひろげれば、松原新一も当然第一候補ですね。

島 大ベテランですが、及川英雄も昨年はよく書いておられましたね。

小島 ああ、私も読みました。「形相」に出ていた「橄欖車」という作品、ベテランの味をもった佳作でした。

島 神戸市民同友会で君本昌久が



島 京子 さん

編集している「文学蜚瑣」もよくがんばっています。

小島 全くです。内容的にも非常に充実している。ただ、小説だけに限って述べると、ちょっと弱い。

島 去年も月刊を維持した「文学と歴史」では、谷村礼三郎の「邪鬼像」が完結しました。

小島 どういう方ですか。

島 明石の人です。

小島 自分が属しているので言にくい「たうろす」で三回連載した広田正敏の作品も、ヌーボー

ロマン風な面白いものです。ただ作者は京都の人です。

島 日教組文学賞をもらった奥野忠昭は昨年作品集を出しました。今後活躍するでしょうが、残念ながら大阪ですね。

小島 どうも、神戸は詩と絵画に強くて、小説ではもう一つです。とくに新人ということになると。それでは、この辺で少ししぼってみましょうか。

★多才な鄭承博氏に

島 そうですね。作品と、活動量から言えば鄭承博あたりが適当ではないでしょうか。はじめの奨励賞的な意味からいっても。

小島 やはり、小説ということでは「AMAZON」の松尾亮にそして鄭承博、評論では野口武彦、松原新一といった人たちが浮んできますが、どうでしょう。

島 松尾亮も定着した実力を持つた人ですしなかなか才人です。

小島 確かに多彩な面白い人です。ただ、尼崎居住ということですから。筒井康隆とか野口武彦といえ、松原新一も含めて、島さんのいわれる奨励賞の意味合いは少し薄れますよ。

島 特に、新鮮な感じでは神戸という土地柄でもありますし、韓国入ということですが淡路に住んで

いるというハンディもあります。が、面白いという点では、鄭承博がいいと思います。

小島 そうですね。「文学界」の三作は特異な体験をきわめてリアルに書いているが、決して力んではないという点もいいですね。

島 いい材料をもっていて、作家としてはうらやましい位です。

小島 ブルー・メール賞の意味からして、実力をもっていて、これからの活躍が期待されるということでは、鄭承博に決定してもいいですね。この「文学界」に紹介された作品以外のものはどう？

島 同人誌に発表されたいくつかのものがありますが、調子も同じようなもので面白いですよ。

小島 やはり、戦中派の全く独特な体験がベースになっていると考えられますので、あの調子で作品が増えていくとすれば有力な作家に育つと思います。奨励賞といっても、本人は大正十二年生まれといえ、満五十歳ですから。

島 新人とは言えませんがね(笑)

小島 州本に住んでいるということですが、一番適格でしょう。今後とも、この受賞を契機にして頑張ってほしいですね。それと去年一年間に活躍された人を選ぶ対象としたことを、最後に、おことわりしておきます。

〈竹葉亭にて〉

BM

'73「神戸っ子」12周年記念

ブルー・メール賞

美術部門選考座談会

若い活動を続ける丸本 耕に

選考委員

赤根和生

〈美術評論家〉

高橋

亨

〈美術評論家〉

増田 洋

〈県立近代美術館事業課長〉

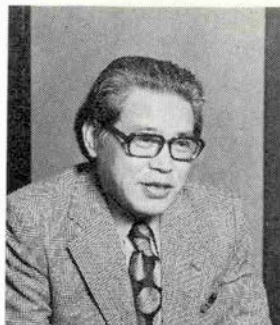
赤根 ブルー・メールというのは

青い海という意味ですね。すると
いわゆる青い、若い人を対象にする
のがいいですね。

編集部 その方がいように思

います。昨年は山口牧生さんでし
た。新人”ということ考虑した
上での若い方に、と思います。

昨年の傾向というのは、どうい



赤根和生氏

ったことになりますか。

赤根 傾向を一口で、というのは
ちょっと難しいですね。具象は具
象で新谷瑛紀のようにいますし、
造型的なもの、鉛を使った河口
龍夫がいますね。編集部 昨年は野外彫刻展も開か
れましたね。増田 地元は河口龍夫だけでした
ね。あの作品はよかったですね。

『高級知恵の輪』みたいな。

あれは大きな作品だけしか賞を
与えないというので、受賞という
ことは考えからはずしての出品で
したね。赤根 去年は山口牧生と候補に並
んでいたんですね。

高橋 受賞者を決める前に、ブル

ー・メール賞の性格自体を考え直

してみるといいんじゃない
ですか。新人も毎年現われるわけ
じゃない。この賞がずっと続くな
ら、最もフレッシュな所へいつて
しまう前に、注目したい人がいる
んじゃないですか。新人賞という
意識を捨てて、ですね。増田 それと、広い美術活動とい
うことですか。高橋 新しい人たちを育てたとか
いったこともですね。赤根 そろそろ具体的に候補者を
あげていきましょか。増田 僕が思いあたるのは、神戸
で日が浅いのでブルー・メールの
対象になるかどうかと思いますが
鄭 相和ですね。非常に買ってい

るんですが。

赤根 まだ、神戸にいるんですか
増田 ええ、やっています。

高橋 丸本 耕なども貴重な存在
だと思っんですが。

赤根 タイミングがどうですか

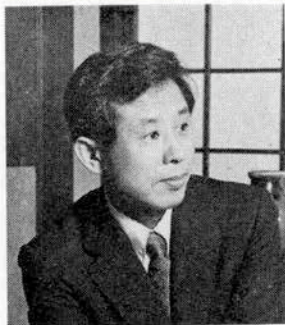


高橋 亨氏

ね。一昨年あたりはいい作品をたくさん残したんですね。新聞会館でやっていた頃、ずい分よかったですよ。

増田 あの方は去年の作品活動としてはどうですか。

赤根 去年はあまりないですね。一昨年は元町画廊でやりましたし、その直後サンポーホールでの『環境と光展』がありました。



増田 洋氏

編集長 鄭さんはいかがですか。

赤根 神戸らしくインターナショナルだけど、作品の方にもう一つ決め手がないと思いますかね。

増田 私が鄭 相和を押すのは、評価する場合に表現技術が充実していなくてもアイデアがよければ高く評価されるということがありますね。それと、その人の持つ純度がどこまで高まってきたかで評価する場合と、私は後をとる主義です。そういった面で昨年の仕事は認めますね。

編集長 去年はどういう仕事内容でしたか。

増田 残念ながら神戸では発表されず、大阪の信濃橋画廊と東京でやったんですね。

それと神戸の街という雰囲気からいって、たまたま神戸にめぐりあわせた芸術家に賞が出たというのでもいいんじゃないかって気がしますね。

高橋 そうですね。だけど、もう少し神戸に落ち着いておられる間にそんな機会が来るように思えますよ。それより、今まで神戸で活動された方だと思いますが。

増田 そうなんです。だから、賞の範囲に入るかどうかと思ったんですが。

赤根 神戸の若手というところ、植松奎二くらいですかね。東京で個展をしたり、大阪でしたり。

高橋 来年、その次と考えると、若い方を置いておいて他に、と思っんですが。

赤根 行動美術の河野通紀にも何かあげたいですね。

高橋 フレッシュさとなるとやはり丸本 耕の方が適しているのではないのでしょうか。年齢はともかく、精神の若さが感じられますよ。赤根 新人というには失礼ですが『カーツ』とくる若さがありますよね。

増田 作家活動で話題のあった方は具象では大石可久也くらいでしょう。でも、ブルー・メールの範囲を逸脱する気がしますし。

赤根 ところで、新谷琇紀をどう評価するかなんですがね。知名度も高くなりましたね。

増田 彼の本質は、小さな作品にあります。根付のような小さな仕事をやってきた日本の彫りものの伝統を彫刻の世界に持ち込んだからユニークなんですよ。それを大きなものにまで持っていけた時までちょっと待ちたいと思います。

巨大な空間が切れる力ですよ。72年度は吉原治良さんが亡くなって具体美術が解散しましたでしょう。その余波で何かシンとした感じがありましたよ。生まれるものに。

赤根 確かに不作の年でしたよ。

増田 印象に残った作品となりま

すと、離宮公園での河口龍夫の作品。先にも出ましたがおもしろかったですね。

赤根 時間のかかる遊び、これは芸術の世界に必要だと思うな。

高橋 現象面からいって話題になったのは版画しかなかったといっているんじゃないですか、去年はところが神戸には版画をやる人が少ない。

赤根 かつてはいたんですがね。

高橋 黒崎 彰も京都へ行っていました。

赤根 あれは惜しかったね。

神戸に芸術大学ができるようになれば、また違うんだろと思うんですが。

編集部 昨年の展覧会はどうでしたか。

赤根 印象に残るパツとしたものがもう一つね。

増田 アカデミー画廊での石川晴久がありました。

編集部 具象の方では。

赤根 絵画では賞の対象には思いませんね。

増田 よく仕事をなさったのでは小松益喜の懐古展、大石可久也の連続した個展、坂本益夫の里帰り展とかありますが、これはブルー・メールの対象になられる方々ではないし、対象となる新人、中堅の活躍は残念ながらあまりみられないですね。

赤根 行動美術の田中徳喜も頑張っていますね。

増田 美術団体の動きとしては、この間やりました県下の高校美術展の若手の張切りぶりはまさにブルー・メール賞に匹敵するようでしたね。

高橋 芦屋ビエンナーレもありましたね。あの時は松谷武判。

増田 そうですね。フランスから帰国して、作品活動の発表とか。

★ブルー・メール賞独自の評価で
丸本 耕に

編集部 そろそろ候補をしぼるとなるでしょうか。

高橋 鄭 相和、丸本 耕、河口龍夫ということですか。

増田 私は鄭 相和を推しているわけですが、昨年の東京、大阪での個展の作品が質的に一段と練られてきたというのが理由の一つです。それと、神戸という都市の性格からしても、外国人作家に早い時期に賞を与えるのもいいのではないかとというのが二つ目。そしてこれが彼の励みになって今年のサンパウロビエンナーレで活躍してくれば、という希望が三つ目の理由です。またいつまで日本にいるかわからないということもありますから。

赤根 河口、丸本両氏のどちらに

賞が与えられてもいいのですが、作品を考えに入れると、丸本 耕は少し弱いかなと思います。

高橋 確かに河口龍夫は離宮公園での作品などがあります。が、彼はこの賞の来年以降のための有力な持ち駒にしておきたいと思いませんか。丸本 耕は、なるほど昨年はあまり作品発表はなかったようですが、地道に活動을 続け、あのフレッシュさを保ち続けている。それが貴重ですね。若い人への無形の影響力という点でも。

たいていの賞は表面的な実績を評価しがちなものですが、もう少しちがった面まで考えてゆくことで、この賞の独自の意義もうまれてくるんじゃないですか。

増田 昨年の山口牧生をみると、一昨年よりは受賞後の昨年の作品に素晴らしいものを残している。そういう意味からすれば、丸本 耕も捨て難いと思います。

高橋 『ゼロの会』の面倒なんかもみているわけでしょう。

赤根 そうですね。結論として、丸本 耕に決めましょう。来年の活躍を期待してということです。

△竹葉亭にて▽



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店/三宮センター街・電話 331-8836(代)

東店/三宮センター街・電話 331-0629

三宮店/さんちカタウン・電話 391-4303

東京

銀座コア店/4階着物コア・電話573-5298(代)

渋谷東急店/5階和装名家街・電話462-3409(直)

日本橋東急店/4階和装名家街・電話211-0511(代)
(内線294)

池袋バルコミ/4階着物小路・電話987-0561(直)



呉那保蔵

みよーや

神戸店 大

電話神戸(331321)三四八番(代)

大阪店 阪神百貨店三階

電話大阪(345)九五八四番

姫路店 やまとやしき百貨店四階
電話 姫路 ②③ 一二二二番

丸前

● お酒の殿堂



アサヒビール特約代理店

酒類調味食品問屋

⑧ 神戸酒類販売株式会社

本店・生田区中山手通1丁目76

TEL (078) 321-0201 (代表)

支店・西宮・垂水・兵庫

刀 剣

日本民族の象徴である美術刀剣武具甲冑を豊富
に取揃え皆様のご来店をお待ちしております。



鑑定 買入

研 白鞘 拵 御承処

神戸市生田区元町通6丁目25番地

刀 美
古 術
骨 董

〒650

元町美術

TEL 078-351-0081